

和歌山県立医科大学 第一内科(糖尿病・内分泌・代謝内科)

概要

当科の専門分野は糖尿病、内分泌、代謝疾患であるが、総合内科専門医、糖尿病学会専門医、内分泌学会専門医、甲状腺学会専門医、肥満学会専門医、病態栄養学会専門医を有する指導医に加え、消化器病学会専門医や呼吸器学会専門医を有する医師も在籍しており、専門分野のみならず内科疾患全般にわたり総合的な医療を提供できる医師を育成することを目指している。

卒後3年目は大学において学内助教として研修を行う。4年目以降は、大学院、学内助教、もしくは、関連病院での研修となる。勤務病院は2~3年で異動することが多い。大学院生は研究を主として行うが、同時に、入院患者を受け持つことで臨床経験をも習得する。

プログラムの目的

- (1) 糖尿病・内分泌・代謝疾患の診療を通じて臨床医としての基本的な知識・技術・態度を身につける。
- (2) 上級医師の指導のもと、担当患者の診断・治療を担当し、専門領域の診療の進め方を理解する。
- (3) 各種カンファレンスや学会で発表することにより、問題解決能力・プレゼンテーション能力の向上を図る。

研修指導体制

当科は、日本糖尿病学会、日本内分泌学会の認定教育施設、日本甲状腺学会の認定専門医施設、日本肥満学会の認定肥満症専門病院、日本病態栄養学会の認定施設であり、指導は各々の領域の専門医によって行われる。さらに、関連病院のうち、8施設が日本糖尿病学会認定教育施設、1施設が日本内分泌学会認定教育施設であり、関連病院においても専門医研修が可能である。

糖尿病・内分泌・代謝内科研修の到達目標

<1> 一般目標

1. 糖尿病

- 1) 糖尿病の病態分析・診断・治療を理解する

- 2) 糖尿病合併症の評価と治療を理解する
- 3) 糖尿病性昏睡の診断と治療を理解する

2. 内分泌疾患

- 1) 内分泌疾患の診断と治療を理解する
3. 脂血異常症やその他の代謝疾患
- 1) 脂血異常症や高尿酸血症などの診断と治療を理解する

<2> 行動目標

1. 糖尿病患者の診療において良好な医師・患者関係を確立するとともに、合併症の発展・進行を抑制するために適切な治療方針を立てることができる。
2. 内分泌疾患の身体的特徴・検査所見の特徴を習得する。
3. 脂血異常症や高尿酸血症などの身体的特徴・検査所見の特徴を習得する。

<3> 経験目標

A) 糖尿病

- 1) 糖尿病の定義・診断(OGTT の適応、HbA1c などのマーカーの理解)
- 2) 糖尿病の分類
- 3) インスリン抵抗性の意義と検査法(HOMA 指数など)
- 4) 低血糖の症状と鑑別(インスリノーマ)
- 5) 糖尿病の食事・運動療法の意義と実際
- 6) 経口血糖降下薬の種類、作用機序、使い分け、副作用
- 7) インスリンの適応
- 8) 低血糖の治療
- 9) 糖尿病性昏睡(DKA,HONK, 低血糖性昏睡)の治療

B) 視床下部・下垂体

- 1) 前葉および後葉の機能の理解
- 2) 前葉および後葉の負荷試験
- 3) 視床下部・下垂体の画像診断
- 4) 機能低下症の補充療法
- 5) 腫瘍の治療法の適応(外科的治療と内科的治療)

C) 甲状腺

- 1) 甲状腺の触診法
- 2) 甲状腺疾患の鑑別診断と検査
- a. 甲状腺機能低下症、橋本病とその他の原因

- b. 甲状腺機能亢進症、バセドウ病の診断と他の原因
- c. 甲状腺エコーの手技と吸引細胞診の適応
- d. 甲状腺シンチの種類と適応
- 3) 甲状腺剤・抗甲状腺剤の投与方法と副作用
- 4) 甲状腺癌の治療法
- D) 副甲状腺および骨
 - 1) 原発性副甲状腺機能亢進症と二次性副甲状腺機能亢進症
 - 2) 副甲状腺機能低下症
 - 3) 悪性腫瘍に伴う高Ca血症の診断と治療
 - 4) 原発性副甲状腺機能亢進症の手術適応
 - 5) 副甲状腺機能低下症の補償療法
 - 6) 骨粗鬆症の診断と治療法の選択
- E) 副腎
 - 1) 副腎皮質機能の評価
 - 2) 副腎偶発腫瘍の検査と手術適応
 - 3) 副腎疾患(クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞種)の鑑別診断
 - 4) 副腎皮質機能低下症の補充療法
- F) 性腺
 - 1) 性腺機能低下症(無月経、不妊、ED)の鑑別と薬物療法